

五葉山 山行報告

1. 目的地：五葉山（標高 1341m）
2. 日程：2008年5月24日（土）～25日（日）
3. 天候：1日目 曇り 2日目 雨
4. 参加者：7名（男性4名・女性3名）
5. 参加費：15,300円（ガソリン代・高速代・運転手謝礼・食料費・入浴料・事故プール金等）
6. コースタイム：1日目 赤坂峠～しゃくなげ小屋～五葉山頂上～しゃくなげ小屋（泊）

11:10 発

13:40

14:50 着

2日目 しゃくなげ小屋～赤坂峠

6:30 発

8:00 着

7. レベル：標高差約630m レベルB（登山初級）

8. 山行状況： 天気予報がわるかったので、中止にしようかと思ったのですが、雨でもいいから行きたい人を募ったら7人も集まってしまう、実施ということになりました。天気予報通り1日目は曇り、2日目は雨でした。登山口の赤坂峠は土浦から約520km、やっぱり岩手県の山は遠いです。でも峠に着くと、満開のヤマツツジが迎えてくれました。これを見ただけで来てよかったですと思いました。峠の、五葉山と反対側の山の斜面は一面ヤマツツジで、来週あたり満開になりそうです。峠から五葉山側を眺めたときはツツジが見えなかったので期待していなかったのですが、登り始めると、登山道の両側にツツジが咲いていて、ツツジの回廊でした。とにかくヤマツツジの多い山です。1合目、2合目と、合目標示がしっかりしていて、地元山岳会の手入れが行き届いているのを感じました。3合目は賽の河原、展望の開けた所なので、ここで昼食。雨が降る気配は全くなし。予想外の好天に全員大喜び。ゆっくり昼食を楽しんで、再び登山開始。少し登ると、畳石という平らな大きい石があり、ここで女性陣の写真をパチリ。ここから先が急坂になるとガイドブックには書いてありましたが、ごく普通の坂道でした。とにかくこの山はなだらかな山なのです。急坂といわれる坂を登りきると、ヤマザクラが咲いていました。白いサクラがほとんどですが、中には濃いピンク色のサクラもあり、目を楽しませてくれます。今夜の宿であるしゃくなげ小屋は9合目にありました。しっかりした小屋で、中に入ると、無人小屋とは思えないほど、きれいでした。近くに水場やトイレもあって、これ以上の無人小屋はないのでは、と思える位の素晴らしい山小屋です。宿泊者は我々だけのようなので、荷物を散らかしたまま山頂へ。山頂は平らなところでした。ここから三陸のリアス式海岸が見えるはずでしたが、残念ながら春霞みで見えませんでした。山頂（三角点）の先に、山頂より10mほど標高の高い岩峰があるので、そこまで足をのばす。岩峰を楽しんで、小屋に戻る頃にはガスが出てきて、何も見えなくなっていました。しかし、これからが無人小屋の楽しみです。登頂の乾杯をしながら夕食の支度にかかります。夕食はTさんの献立による鍋料理でした。これがもう何ともいえず、うまかったことよ。1泊2食付の山小屋ではとても味わえない代物でした。おかげで酒もはかどりました。五葉山はほんといい山です。

次の日は朝から雨なので、雨具を着て下山。二日目予定の氷上山は諦めて、朝から温泉探し。暮石天然温泉という民宿の温泉に入りましたが、これがまた露天風呂もあって結構でした。その後、気仙沼港に行き、新鮮な「ほや」や「岩がき」を賞味して、帰途に着きました。

10. 写真



ヤマツツジの登山道



畳石



五葉山頂上



頂上の奥の岩峰



ここに写っていない人によるいたずら写真



2日目の朝、小屋の中にて